

令和7年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能訓練学Ⅱ 演習		演習	山本 雅美・荒木 渚・山岸 統子・荻野 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
本科目は、視能訓練学各論Ⅱで学んだ内容をもとに、これまでに学んだ視能矯正の知識の振り返り、および視能矯正を実践に活用できるよう演習を行いながら授業を進める。さらに、OSCE（客観的臨床力試験）は、3年次の臨地実習に不可欠な、知識、技能、態度を統合した臨床能力を評価する。				
授業の到達目標				
①病歴の取り方、聴取すべき項目を理解し問診することができる。 ②患者の協力が得られるよう検査の目的・方法や治療方針についてわかりやすく説明ができる。 ③検査の特徴や注意点を理解し、患者の状況に応じた適切な検査が正しい手順で行える。				
授業計画				
回	内容			
1	POSによる視能矯正、医療面接について			
2	先天性上斜筋麻痺症例に関する問診の実践		（視能訓練学各論Ⅱ第1回終了後）	
3	先天性上斜筋麻痺症例に関する検査の振り返り		（視能訓練学各論Ⅱ第2回終了後）（実習室）	
4	間欠性外斜視症例に関する問診の実践		（視能訓練学各論Ⅱ第3回終了後）	
5	間欠性外斜視症例に関する検査の振り返り		（視能訓練学各論Ⅱ第4回終了後）（実習室）	
6	屈折性調節性内斜視症例に関する問診の実践		（視能訓練学各論Ⅱ第5回終了後）	
7	屈折性調節性内斜視症例に関する検査の振り返り		（視能訓練学各論Ⅱ第6回終了後）（実習室）	
8	弱視症例に関する問診の実践		（視能訓練学各論Ⅱ第7回終了後）	
9	弱視症例に関する検査の振り返り		（視能訓練学各論Ⅱ第8回終了後）（実習室）	
10	外転神経麻痺症例に関する問診の実践		（視能訓練学各論Ⅱ第9回終了後）	
11	外転神経麻痺症例に関する検査の振り返り		（視能訓練学各論Ⅱ第10回終了後）（実習室）	
12	滑車神経麻痺症例に関する問診の実践		（視能訓練学各論Ⅱ第11回終了後）	
13	滑車神経麻痺症例に関する検査の振り返り		（視能訓練学各論Ⅱ第12回終了後）（実習室）	
14	OSCE（客観的臨床能力試験）対策			
15	OSCE（客観的臨床能力試験）対策			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	20%	課題について理解力、考察力、表現力を評価します。評価基準は別途示す。		
小テスト				
平常点				
その他	80%	OSCE（客観的臨床能力試験）にて評価します。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
眼科検査ガイド 第3版		根木昭 監修	文光堂	
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版		若山曉美 他編	医学書院	
視能矯正学 改訂第3版		丸尾敏夫 編	金原出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				